

必ず準備

携行品リスト

準備ができたなら☑しましょう

- ☐ 現金・貴重品・身分証明など
- ☐ 薬・お薬手帳
- ☐ 携帯電話・充電器
- ☐ 懐中電灯・ラジオ・予備電池
- ☐ 筆記用具
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 洗面用具・タオル
- ☐ コンタクトレンズ(保存液)・眼鏡
- ☐ 水・非常食(おやつなど)
- ☐ スプーン・箸
- ☐ 使い捨てカイロ・瞬間冷却剤
- ☐ 毛布
- ☐ アイマスク・耳栓

さらに安心

プラス携行品

女性

- ☐ 化粧品(普段使いのもの)
- ☐ 生理用品(1周期分)

赤ちゃん

- ☐ 紙おむつ(必要数)
- ☐ おしりふき
- ☐ 粉ミルクや離乳食
- ☐ おもちゃ

高齢者

- ☐ 大人用おむつ(必要数)
- ☐ 入れ歯洗浄剤
- ☐ 老眼鏡

新型コロナウイルス感染症対策携行品

- ☐ マスク
- ☐ ゴミ袋
- ☐ 消毒液
- ☐ スリッパ
- ☐ 体温計

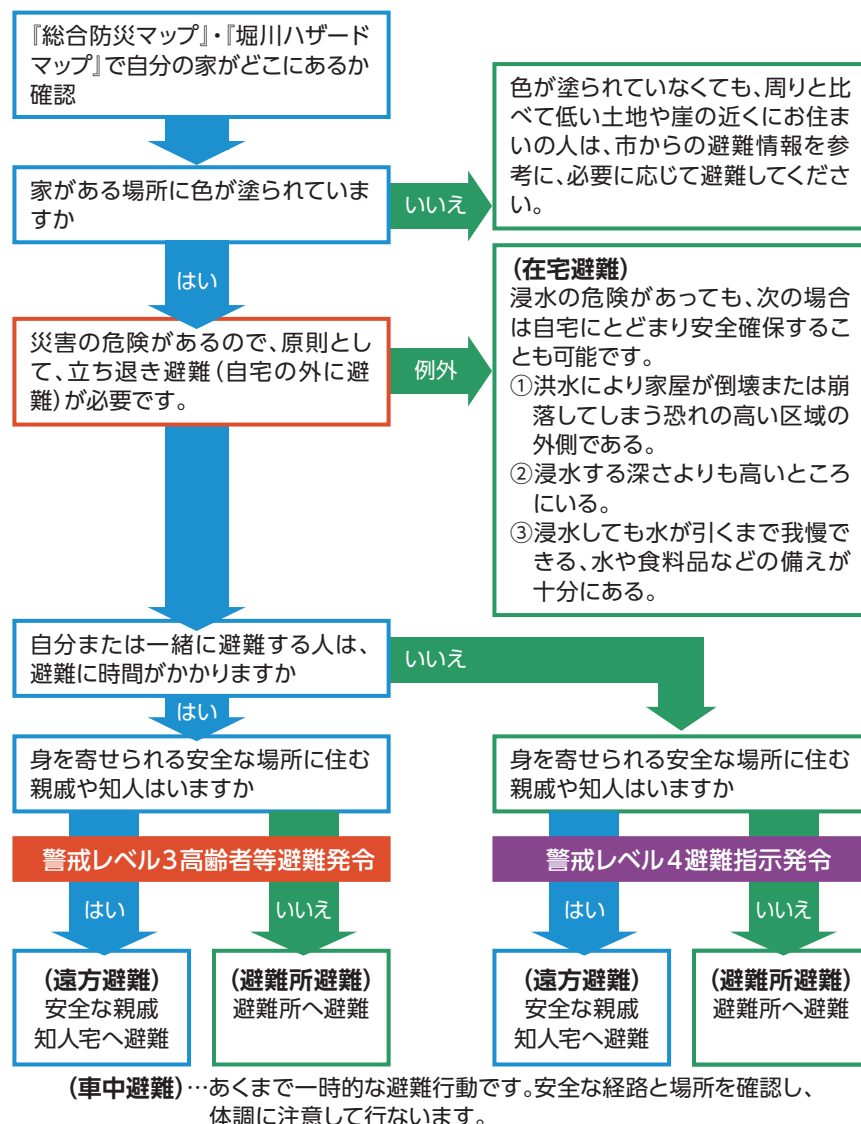


分散避難のススメ

『総合防災マップ』『堀川ハザードマップ』を見て、確認してください。

災害時、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを減らすために、さまざまな避難先に避難する**分散避難**をしてください。自分に当てはめて取り組んでみましょう。

災害時の避難行動フローチャート



新たな避難のレベルを確認

市町村が災害の状況を確認できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

警戒レベル	状況	新たな避難情報	発令
5	災害発生または切迫	緊急安全確保	合志市
警戒レベル4までに必ず避難を			
4	災害の恐れ高い	避難指示	合志市
3	災害の恐れあり	高齢者等避難	合志市
2	気象状況悪化	大雨・洪水注意報	気象庁
1	今後気象状況悪化の恐れ	早期注意情報	気象庁



避難者同士のスペースを確保する災害用テント
市では、感染症対策やプライバシー保護のため、災害用テントの他に、段ボールベッドやパーティションなども備えています。



自分合った避難方法の確認を

基本は分散避難

地震や豪雨など大きな災害が発生すれば、安全な場所への避難が必要になります。これまでのように避難所に多くの人が集まると新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まります。災害と感染症から身を守るために、新しい避難の種類を知り、自分に合った避難方法を考えておきましょう。

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを減らすには、避難所以外の安全な場所へ避難する分散避難が必要です。自宅へ避難する「在宅避難」、親戚や知人の元へ避難する「遠方避難」、安全な場所への「車中避難」、そして「避難所避難」とさまざまな避難先を想定し、非常時にすぐ行動できるようあらかじめ考え、準備しておくことが重要です。安全な場所は災害の種類や状況によっても異なります。自宅周辺の危険性や近くの避難所を把握しておくことも大切です。



床からの高さも確保できる段ボールベッド



避難者への検温

災害時でも新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ観点から、避難所の入口に受け付けを設け、検温や体調チェックシートの記入により、体調不良の人を振り分けします。避難所では避難の期間や災害の規模に応じて、仕切りでスペースを設けたり、段ボールベッドや災害用テントで避難所同士の距離を確保することで感染を防ぎます。

避難所が変わる

昨年7月に九州を中心に発生した令和2年7月豪雨災害や、本年7月に熱海市で発生した大雨による土石流被害など近年、激甚化した自然災害が全国各地で多発しています。昨年は本市でも台風や大雨により避難所を開設。「合志市は災害リスクが少ないから大丈夫」と、決して他人事とは言い切れない状況です。日ごろから、もしもに備え、避難方法、備蓄、携行品、災害時の情報収集について、改めて確認しておきましょう。